

希望が丘

令和5年5月11日

第4号



行くぜ! fight! 一発!! ~青春を懸けた世紀の一戦~

5月2日の臨時代表委員会で、今年度の体育祭テーマが「行くぜ! f i g h t ! 一発!! ~青春を懸けた世紀の一戦~」に決まりました。そして、今日の全校集会で、このことについての呼びかけもありました。昨年度まで、コロナの影響を受けて公開を制限していましたが、今年度は、観覧スペースの容量等の関係から、1家庭2名までの制限は設けているものの、すべてのご家庭に観覧していただくことができそうです。(ただし、セキュリティの関係から、一般公開はしません。そのため、発行する入場券を忘れずお持ちください。) 競技や演技をする生徒の皆さんも、一段とやる気が高まりますね。以前と比べてどうかではなく、皆さんらしい体育祭にしてくれることを期待しています。「楽しむ競技」と「見せる演技」をきちんと区別して、取り組んでください。そして、自分たちにとって思い出に残る、見ていただく方に感動を与えられる、そんな体育祭にしてくれることを願っています。学級や学年で心を合わせて、練習に取り組んでください。

伝統をつなぐということとは

毎週日曜の夜に、TBS 系列で「情熱大陸」という番組が放映されています。先日、狂言師の野村萬斎氏が取り上げられていました。その中で、父親であり、人間国宝の野村万作氏へのインタビューも流れていました。万作氏が狂言の世界について語る中で、次のような言葉を言っていたのが印象に残りました。

伝統をつなぐということは、師匠と同じ芸をするということではないんです。

「伝統」というと、先人たちが作り上げたもので、それを後世に残すことが「伝統を守る」ということだと考えがちです。しかし、万作氏は、単にまねるだけではだめだと言います。模倣から始まるが、そこに自分なりの工夫を加えて、新しい何かを作り出し、これまでのものと融合させることで、新しい伝統が生まれる。それが、伝統をつなぐということだと言います。

私たちも、三豊中学校の伝統というものを考えたとき、先輩たちがやってきたことと同じことをするだけではだめだと思うんです。何か、今の皆さんが考え、工夫したものを加えて、よりよいものを作り上げる。それを後輩たちに託すことで、「伝統をつないでいく」ということができる気がします。

皆さんは、どう考えますか? 希望が丘宣言の中には、こんな一言もありますね。

「受け継ごう 心と技と伝統を」

皆さんなりの伝統のつなぎ方を考えてみてください。

保護者の皆さんへのお願い

皆さんご存じのとおり、8日(月)から、新型コロナウイルス感染症は法律上「5類」に引き下げられました。これに伴い、世の中では、様々な変更が行われます。学校関係では、5月2日付でお配りしたプリントのとおり、「感染した場合の出席停止期間の短縮」や「濃厚接触者の特定がなくなったこと」などがあります。一方、毎日の健康観察や手洗い、換気などの基本的な感染対策は、これまで同様、重要であるとされています。各ご家庭でも、引き続き、感染防止対策に取り組んでくださるようお願いいたします。なお、発熱や咽頭痛、せきなど、普段と異なる症状がある場合は、無理をせずに自宅で休養してください。そのような場合は、「欠席」ではなく、「出席停止」扱いといたします。